

avancer 『アヴァンセ』

令和5年度・第6号

令和5年9月吉日 所長 海老澤政昭

前期が終了しました。後期開始に伴う前期末まとめ及び後期課題等に係る面接が始まります。ご協力よろしくお願ひします。来月、11月3日(金)に第10回ごうでいんぐ感謝祭を実施します。第1回目は多機能型事業所ごうでいんぐ原田にて実施されました。当時の資料から振り返りますと、子どもたちや仲間たちのパフォーマンス、作品展示、物品販売等々を行ない、農作物・仲間たちによる手作り作品・焼きそば・揚げたこ・フライドポテトなどを販売していました。第2回目には餅つきも行なっています。社会福祉法人となり、多機能型事業所ごうでいんぐ岩世ヶ原としてスタートした年は令和2年。新型コロナウイルスの猛威が始まるうとしていた年でもあります。そんな中でも感染に十分留意しつつ、感謝祭は継続してきました。今回はごうでいんぐ誕生10周年を兼ねた感謝祭でもあります。保護者の方々にはスタッフとしてご協力をさせていただき感謝祭になります。実行委員会も着実に準備を整いつつ、10月16日(月)のサロンにて進捗状況を報告し、最終案を取りまとめしていく予定です。短い時間ですが、楽しいひと時と次年度につなぐ機会としたいと思います。

さて、来年度は診療報酬改定、介護報酬改定、障害福祉サービス等報酬改定のトリプル改定の年になります。物価が高騰する中、最低賃金改定等賃金のアップが求められ、どのような報酬改定が行なわれるのかはとても注目しているところです。特に、最近の社会福祉は一般企業の参入によるサービス競争が激しくなっているため、報酬基準の見直し等々の影響は様々な面で大きいと考えられます。事前の情報等は少しずつ明らかになってきてはいますが、仲間たちのゆたかな発達が保障されるための環境はどんなことがあっても優先的に維持されるべきです。工夫しつつ、着実に歩んでいきたいと思ひます。

地震想定訓練を実施しました



毎年行っている、地震想定訓練における保護者引き取りを9月1日に実施しました。訓練では、慣れているためか、落ち着いて行動できていますが、実際地震が起きると・・・。12年前の東北地方太平洋沖地震では、富士市も震度4を経験し、保護者の皆様も緊張したことと思ひます。いつ起きるか分からない震災に落ち着いて行動できるよう、職員も日々心掛けております。



【編集後記】

真夏の暑さがやっと落ち着いてきました。しかし、インフルエンザやコロナ、食中毒などまだまだ心配はつきませんね。カフェがんじょっばらも慎重に営業しております。